2013年チェコ大統領選挙(第一回投票)

平成 25 年 1 月 14 日
在チェコ日本国大使館

1月11日及び12日、チェコにおいて任期満了(5年)に伴う大統領選挙(第一回投票)が実施されたところ、結果概要以下のとおり。

選挙結果概要

直接選挙制導入後初めて実施される大統領選挙において、得票率 24.21%のゼマン候補及び同 23.40%のシュワルツェンベルグ候補が、1月25・26日に実施予定の決選投票に進出することとなった。投票率は 61.31%。

1. 投票結果

チェコ統計局の開票速報(開票率100%)によれば、第一回投票の結果は以下のとおり。なお、投票率は61.31%

候補者名(役職等/所属政党/政治的思想傾向)	得票率(%)	得票数(票)
○ミロシュ・ゼマン(元首相/SPOZ/中道左派)	24.21%	1,245,848
○カレル・シュワルツェンベルグ(副首相兼外相/TOPO9党首/中道右派)	23.40%	1,204,195
ヤン・フィセル(前首相/無所属/中道右派)	16.35%	841,437
イジー・ディーンズビル(上院議員/CSSD副党首/中道左派)	16.12%	829,297
ブラディミール・フランツ(舞台芸術アカデミー講師/無所属/中道)	6.84%	351,916
ズザナ・ロイトヴァー(欧州議員/KDU-CSL/中道)	4.95%	255,045
ターニャ・フィシエロヴァー(元下院議員,女優/無所属/中道)	3.23%	166,211
プシエミスル・ソボトカ(上院副議長/ODS/中道右派)	2.46%	126,846
ヤナ・ボボシーコヴァー(元欧州議員/Suverenita 党首/中道右派)	2.39%	123,171

2. 選挙概要

(1) 昨年の憲法改正で直接選挙制が導入されてから実施される初めての大統領選挙(これまでは上下両院による間接選挙制)。任期5年、連続三選不可。大統領は国家元首であるが、政策への影響力は首相と比較し限定的。主な権限は閣僚の任免、下院の召集・解散、法律への署名、対外的な国家代表、軍の最高司令官、裁判官の任命、栄典の授与、恩赦の決定。

(2) 第一回投票において有効票総数の過半数を獲得した候補者がいなかったため、1月25及び26日に上位2候補のゼマン候補とシュワルツェンベルグ候補による決選投票が実施される予定。